

関学らしい 多文化共生とは

—日本語教育の可能性—

日本語教育センター設立10周年を機に、これまでのセンターの歩みを振り返るとともに、関学らしい多文化共生のあり方とは何か、その実現に日本語教育がどのように貢献できるのかを、全学でともに考えるシンポジウムを実施します。

9/2 Fri.
10:00-13:00

本シンポジウムでは手話通訳、パソコンテイクによる
情報保障を予定しています

場所

西宮上ヶ原キャンパス
G号館101号教室 (対面開催の予定)

対象

テーマに関心を持ってくださった方 (学生・教職員、他)

申込

10周年特設サイトからお申込みください

A 報告1.

日本語教育センター10年の歩み
～拡大する大学の国際化施策の中で～

B 報告2.

日本語教育センターの現在の姿
～教育実践と学生の声～

C パネルディスカッション

関学らしい多文化共生キャンパスとは

パネリスト

| | | |
|-----------|----|----|
| 人間福祉学部 教授 | 武田 | 丈 |
| 教育学部 准教授 | 岩坂 | 二規 |
| 国際学部 教授 | 志甫 | 啓 |

ファシリテーター

総合政策学部 准教授 牲川 波都季 (日本語教育センター兼任)

10周年特設サイト



<https://www2.kwansei.ac.jp/cjle10thanniversary>
シンポジウムの詳しい情報を更新していきます。

10th

Mastery
for
Service

主催 関西学院大学 日本語教育センター